

高病原性鳥インフルエンザウイルスに対し、 感染リスクの高い日本の野鳥種

(9目10科33種)

●カイツブリ目 カイツブリ科



撮影：石井照昭

◆カイツブリ (*Tachybaptus ruficollis*)

【特徴】

○太くて黒い嘴、基部は黄白色。○尾は非常に短く体は丸い。○全体は黒褐色で、顔から頸にかけて赤褐色。

【分布】

北海道から南西諸島まで広く繁殖。北日本では夏鳥、それ以南では留鳥。



撮影：(財) 自然環境研究センター

◆ハジロカイツブリ (*Podiceps nigricollis*)

【特徴】

○黒くてやや上に反った嘴。○冬羽では、頭から背中黒褐色。顔から胸にかけて白い。

【分布】

冬鳥として九州以北に飛来。



◆カンムリカイツブリ (*Podiceps cristatus*)

【特徴】

○嘴はピンク色。○頭上は冠羽。○頬に赤褐色と黒色の扇状に広がる飾り羽。(写真は夏羽)

【分布】

青森県と琵琶湖で繁殖が記録されているが、ほとんどは冬鳥として九州以北に渡来する。

●ペリカン目 ウ科



撮影：バードリサーチ（高木憲太郎）

◆カワウ (*Phalacrocorax carbo*)

【特徴】

○先端がカギ状の灰褐色の嘴。○全身光沢のある黒で、鱗模様がある。頬から喉は白い。

【分布】

本州・四国・九州で繁殖。主に留鳥で一部冬鳥。

●コウノトリ目 サギ科



撮影：バードリサーチ（加藤ななえ）

◆ゴイサギ (*Nycticorax nycticorax*)

【特徴】

○足は黄色いが、繁殖期には赤みを帯びる。○背中は青みがかった灰色。体下面・顔・頸は白色。○後頭に白い冠羽が出る。

【分布】

本州・四国・九州で繁殖。主に留鳥。一部夏鳥。



◆アマサギ (*Bubulcus ibis*)

【特徴】

○頭・頸・胸・背は橙黄色。他は白。○冬羽では全身が白い。

【分布】

夏鳥として飛来し、本州・四国・九州で繁殖。近年北海道でも記録が増えている。



◆ダイサギ (*Egretta alba*)

【特徴】

○全身は白く、嘴や頸が長い。○夏には、嘴が黒く眼先は青緑色になる。○冬には、嘴が黄色で眼先が黄緑色になる。

【分布】

本州以南は夏鳥として飛来して繁殖。一部冬鳥。



◆コサギ (*Egretta garzetta*)

【特徴】

○全身は白い。黒くて長い嘴。足は黒いが足指は黄色。後頭に冠羽がある。○冬には、眼先は黄色。○夏には眼先や足指が赤味を帯びる。

【分布】

留鳥・夏鳥として本州・四国・九州で繁殖。



◆アオサギ (*Ardea cinerea*)

【特徴】

○嘴は黄色で、足は黄褐色だが、繁殖期には嘴・足共にピンク色。○全身は灰色。頭は白く、眼の後方から冠羽へと黒い帯がある。首には黒い縦斑が数本ある。

【分布】

本州北部以北では夏鳥、それ以南では留鳥。

●カモ目 カモ科



撮影：石井照昭

◆シジュウカラガン (*Branta canadensis*)

【特徴】

○頭から頸は黒く、頬から喉に白斑がある。胸・腹は灰褐色。下腹・下尾筒は白い。○足は黒色。

【分布】

宮城県に定期渡来。少数が越冬。



撮影：バードリサーチ（高木憲太郎）

◆マガン (*Anser albifrons*)

【特徴】

○嘴はピンク。まれにオレンジ。嘴基部周辺が白い。○足はオレンジ。○全身が黒褐色。下面はやや淡い。腹に黒斑。

【分布】

北海道を通過して本州で越冬。



撮影：(財) 自然環境研究センター

◆コブハクチョウ (*Cygnus olor*)

【特徴】

○全身は白い。○細長い頸。○嘴はオレンジ。基部には黒いこぶがある。○足は黒い。

【分布】

元は飼われていたものが各地で野生化。北海道で繁殖したものが、茨城県へ定期的に渡る。



◆オオハクチョウ (*Cygnus cygnus*)

【特徴】

○全身は白い。○細長い頸。○嘴は先端が黒く、基部は黄色。コハクチョウよりも黄色の面積が広い。○足は黒い。

【分布】

関東以北で越冬。



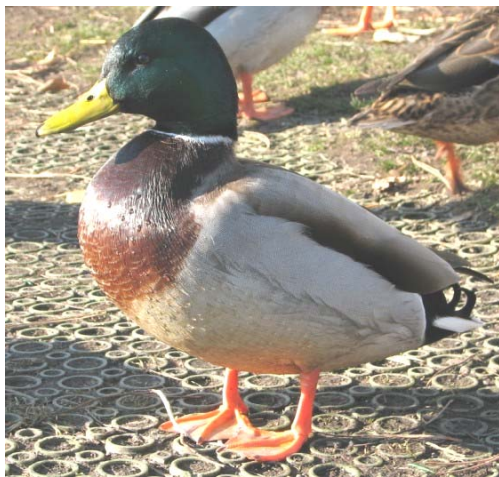
◆コハクチョウ (*Cygnus columbianus*)

【特徴】

○全身は白い。○オオハクチョウに比べて短めの頸。○嘴は先端が黒く、基部は黄色。オオハクチョウよりも黄色の面積が狭い。○足は黒い。

【分布】

主に北海道・本州で越冬。



◆マガモ (*Anas platyrhynchos*)

【特徴】

○嘴は黄色。○足は濃いオレンジ色。○頭は暗緑色。頸に細い白の輪。胸は茶色。

【分布】

冬期として全国に渡来する。北海道などでは少数が繁殖。



◆オナガガモ (*Anas acuta*)

【特徴】

○嘴は黒く、両側は青灰色。○頭部から後頸にかけてチョコレート色。頸と胸は白い。○尾羽は黒色で細長い。

【分布】

全国的に冬鳥として飛来。



撮影：バードリサーチ（守屋年史）

◆ホシハジロ (*Aythya ferina*)

【特徴】

○嘴は黒く、中ほどは鉛色。○足は鉛色。○頭から頸は赤茶色。○上・下面とも灰色で、細かい黒い波状の斑がある。○胸と尻は黒。

【分布】

主に冬鳥。全国に飛来。



◆キンクロハジロ (*Aythya fuligula*)

【特徴】

○嘴は青灰色で先端は黒い。○虹彩は黄色。○頭は紫色光沢があり、後頭に房状の冠羽。

【分布】

主に冬鳥。全国で越冬。

●タカ目 タカ科



◆オオタカ (*Accipiter gentilis*)

【特徴】

○嘴基部と足は黄色。○虹彩はオレンジ色または黄色。○上面は暗青灰色、下面は白く、黒褐色の横斑がある。○白色の眉斑が目立つ。

【分布】

留鳥としてほぼ全国で繁殖するが、南西諸島ではまれな冬鳥。



撮影：(財) 自然環境研究センター

撮影：石井照昭

◆ノスリ (*Buteo buteo*)

【特徴】

○嘴は黒褐色で太い顎線がある。○上面は褐色味が強く、下腹に褐色の斑がある。○飛翔時には翼角に暗褐色の斑が目立つ。

【分布】

主に留鳥として本州中部以北で繁殖。四国・九州以南では冬鳥として飛来。



撮影：(財) 自然環境研究センター

◆サシバ (*Butastur indicus*)

【特徴】

○眉斑は不明瞭、胸は茶褐色。腹から下面は幅広い褐色の斑。○全身は黒褐色。○喉は白いが、黒い縦線が目立つ。

【分布】

本州・四国・九州に夏鳥として飛来。



撮影：(財) 自然環境研究センター

◆クマタカ (*Spizaetus nipalensis*)

【特徴】

○後頭に冠羽がある。○胸は白く、黒褐色の縦斑がある。○飛翔時に翼の幅が広く見える。

【分布】

九州以北で留鳥。



撮影：中村忠昌



撮影：石井照昭

◆チュウヒ (*Circus spilonotus*)

【特徴】

○全体が褐色であるが、雄雌共に個体による羽色の変異が多い。○帆翔時には翼を浅いV字型にして飛ぶ。

【分布】

本州以南に冬鳥として飛来。本州中部以北で局地的に繁殖。

ハヤブサ科



撮影：(財) 自然環境研究センター

◆ハヤブサ (*Falco peregrinus*)

【特徴】

○上面は暗青灰色。下面は白く、黒褐色の横斑がある。○頬に目立つひげ状の黒斑がある。

【分布】

留鳥として九州以北で繁殖するほか、全国に冬鳥として飛来。



撮影：石井照昭

◆チョウゲンボウ (*Falco tinnunculus*)

【特徴】

○背と翼上面は茶褐色で黒褐色の斑がある。頭と尾は青灰色。○眼先から下へひげ状の黒斑がある。

【分布】

全国に冬鳥として飛来するほか、主に東日本で繁殖もする。

●ツル目 クイナ科



撮影：土屋公幸

◆バン (*Gallinula chloropus*)

【特徴】

○嘴と額は赤で、嘴の先端は黄色。○足は黄緑色で腿は赤い。○全身は黒く、上面は褐色味がある。○脇腹に白斑がある。

【分布】

関東以北では夏鳥。それ以南では留鳥。



◆オオバン (*Fulica atra*)

【特徴】

○嘴と額は白い。○全身黒色。

【分布】

ほぼ全国で繁殖し、本州以南で越冬。

●チドリ目 カモメ科



◆ユリカモメ (*Larus ridibundus*)

【特徴】

○細くて暗赤色の嘴。○足は赤い。○全身は淡い青灰色。○夏羽の頭部は褐色味の黒。

【分布】

ほぼ全国に冬鳥として飛来。

●フクロウ目 フクロウ科



◆ワシミミズク (*Bubo bubo*)

【特徴】

○羽角がある。○全体は茶褐色、頭・胸には黒褐色の縦斑、腹には細い横じま。

【分布】

北海道北部で繁殖。



撮影：石井照昭

◆コノハズク (*Otus scops*)

【特徴】

○褐色型と赤色型がある。○羽角がある。○虹彩は黄色。

【分布】

九州以北に夏鳥として飛来。

●スズメ目 カラス科



◆ミヤマガラス (*Corvus frugilegus*)

【特徴】

○嘴は黒いが、基部が白っぽく見える。○ハシボソガラスやハシブトガラスなどに比べて、嘴は細く先端は鋭く尖っている。○全体に黒く、紫色または青の光沢。

【分布】

主に九州に冬鳥として飛来。東北地方や北海道でも越冬する。



◆ハシボソガラス (*Corvus corone*)

【特徴】

○嘴はハシブトガラスに比べて細く、上嘴はやや湾曲する。○全体に黒く、紫色または青の光沢。

【分布】

主に九州以北に留鳥として分布。



◆ハシブトガラス (*Corvus macrorhynchos*)

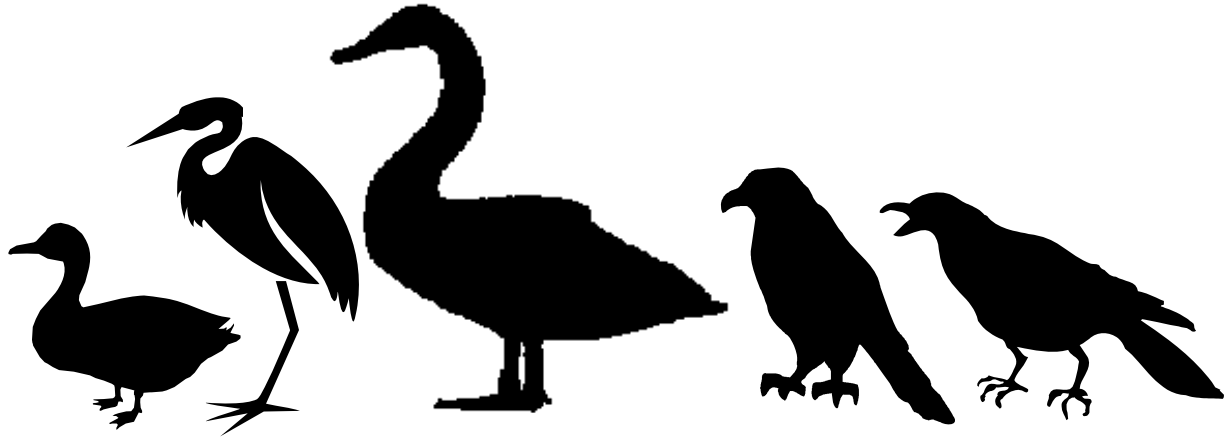
【特徴】

○嘴は太く、上嘴は著しく湾曲。○額は出っ張り、嘴基部との間に段差があるように見える。○全体に黒く、紫色または青の光沢。

【分布】

全国に留鳥として分布。

主な鳥種のものさし



マガモ

ダイサギ

コハクチョウ

オオタカ

ハシブトガラス